

～車上作動処理契約業者の皆さまへ～

(追加情報) スズキ、日産、マツダの特定車両に車台詳細情報「2019年10月21日発行の火災防火措置を実施して下さい」の表示を掲載しました。火災防止措置の実施をお願いします。

平素はエアバッグ類の適正処理にご尽力いただき、ありがとうございます。

下記対象車両は、エアバッグ類車上作動処理を実施した際に運転席側後方のフロアアンカー部に装備されているラップアウトプリテンショナー*からカーペット等に引火する可能性があるため、エアバッグ類車上作動処理を実施する前に火災防止措置の実施を「JARP2019.10 A-1914A」で再通知しております。

※適正処理情報 共通報では、ではファイナルアンカーと表記

今回、JARPホームページに掲載の「JARP2019.10 A-1914A」を実施いただくことを周知するため、車台詳細情報のエアバッグ類詳細情報に火災防止措置の実施を表示しましたので、ご案内します。

【対象車両】

メーカー名	通称名	型式(自動車排出ガス識別記号を除いた記号)
スズキ	アルト	HA24S/HA25S/HA35S
	ラパン	HE22S
	セルボ	HG21S
日産	ピノ	HC24S
マツダ	キャロル	HB24S/HB25S/HB35S

【車台詳細情報】

➤エアバッグ類詳細情報 その他2に「2019年10月21日発行の火災防火措置を実施して下さい」の表示があった場合、JARPホームページ掲載の「JARP2019.10 A-1914A」(次頁参照)を実施する。

◆メーカー等提供のエアバッグ類装備情報 (「※」はオプション装着の可能性がありますので、現車をご確認ください)				
運転席	1			
助手席	1			
サイド	0			
カーテン	0			
プリテン	3			
◆エアバッグ類 詳細情報				
一括作動システムへの対応	一括作動システム対応車両です			
機械式の部位				
その他1				
その他2	車上作動処理前に自再協HP2019年10月21日の火災防火措置を実施してください			
◆車台実車装備情報				
フロン類装備	有			
フロン類種別	HFC			
エアバッグ類装備	有			

【作業目的】

➤対象車両の解体作業におけるエアバッグ一括作動処理では、シートベルトのプリテンショナーは乗員が乗車していない状態で作動します。

そのため運転席に装備されているラップアウトプリテンショナーから乗員乗車時と比較して高温高圧のガスが多く噴出する為、カーペット裏面のフェルトに引火する可能性があります。「JARP2019.10 A-1914A」の実施により、安全にエアバッグ一括作動処理を実施できます。



ラップアウトプリテンショナー
装備位置

～車上作動処理契約業者の皆さまへ～



スズキ、日産、マツダの下記車両について 火災防止措置の実施をお願いします。

再通知

本件は、「JARP2016.11A-1615」で通知した火災防止措置の実施を依頼する再通知文です。
下記対象車両は、エアバッグ類車上作動処理を実施した際に運転席側後方のフロアアンカー部に装備されているラップアウトプリテンショナー*からカーペット等に引火する可能性があるため、エアバッグ類車上作動処理を実施する前に火災防止措置の実施をお願いします。

※適正処理情報 共通情報では、ではファイナルアンカーと表記

1. 対象車両

メーカー名	通称名	型式 (自動車排出ガス識別記号を除いた記号)
スズキ	アルト	HA24S/HA25S/HA35S
	ラパン	HE22S
	セルボ	HG21S
日産	ピノ	HC24S
マツダ	キャロル	HB24S/HB25S/HB35S

2. 火災防止措置の内容

エアバッグ類車上作動処理を実施する前に火災防止措置として作業手順①～⑥の実施をお願いします。

【作業手順】

①運転席シートを最前列にスライドさせ、②リクライニングレバーを引き、シートを前に倒す



③後席足元にあるマット等は全て取り除き、作業スペースを確保する



④ベルトの開口部からカッターを入れ、点線部を切る



⑤カッターで切ったカーペットは下に入れ込む*
または、三角にカーペットを切り取ってください

※カーペットを上を折り曲げた状態だと、火災に至る可能性があります。



⑥最後に運転席のシートバックを引き起こして元に戻し、シートスライドがロックしていることを確認して下さい

フロン類・エアバッグ類に関する最新情報は、自再協 HP(自再協で検索)よりご確認ください。

自動車再資源化協力機構
TEL: 03-5405-6150 / E-mail: info@jarp.org

自再協

検索

クリック